

講義名称	子どもの理解と援助	担当教員名	鈴木 まゆみ
科目群	専門科目 CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の対象の理解に関する科目 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CMUC2152

授業のキーワード	子ども理解 発達援助 視点 共感的理解 子どもの行為
授業の概要	保育における子ども理解の視点を実践的に理解し、子どもを理解する専門的な方法を学びます。また、子ども理解に基づく発達援助について、事例分析、グループ討議、ロールプレイング等を通して学習します。
期待される学習成果（目標）	保育実践の実態に応じた子どもの心身の発達や学びを理解します。また、子ども理解への考え方、具体的方法を理解し、子ども理解に基づく保育士の援助や態度の基本を修得します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	保育における子ども理解の意義	子どもの行為について理解し、保育者に求められる子ども理解について学びます。
2	子どもに対するかかわりと共感的理解	子どもの視点に立つ共感的理解とは何か、グループ討議を通して学びます。
3	子どもの生活や遊び	子どもの生活や遊びの中で求められる子ども理解について学びます。
4	人的環境としての保育者と子どもの発達	保育者と子どものかかわりから生じる相互作用について理解します。
5	子どものかかわりと関係づくり	子ども理解を基盤とした子どもとの関係づくりを、事例分析から学びます。
6	集団における経験と育ち	集団への参加、集団の発展にかかわる保育者の援助について学びます。
7	発達における葛藤やつまずき	いざごの発達の变化や自我の発達にかかわるつまずきと保育者の援助について学びます。
8	保育環境の理解と構成	保育環境の重要性を理解し、環境を構成する際の援助の工夫について学びます。
9	環境の変化や移行	環境の変化や移行に影響する要因を理解し、保育者の援助について学びます。
10	子ども理解のための方法	子ども理解のための観察・記録・省察・評価について学びます。
11	子ども理解のための職員間の協働	保育における対話と協働について理解し、保育カンファレンスについて学びます。
12	子ども理解と保護者	保育者と保護者との情報共有の意義、方法について学びます。
13	発達の課題に応じた援助とかかわり	発達過程と個人差について理解し、発達の課題に応じた援助とかかわりについて学びます。
14	特別な配慮を必要とする子ども理解と援助	特別な配慮を必要とする子どもや、気になる子どもを理解する方法について学びます。
15	発達の連続性と就学への支援	幼小接続期における子どもと保護者への支援について学びます。

定期試験	定期試験は実施しません。
授業時間外学習	事前に授業で扱うテーマについて予習をし、授業に臨んでください。（60分） 毎授業時に振り返りに関する課題を提示しますので、次回の授業まで取り組み、
評価方法	授業貢献度・課題・提出物（60%）、期末レポート（40%） 課題・提出物・レポートはコメントを記入して、返却します。
使用する教科書（必ず購入してください）	藪中征代・玉瀬友美 編著 小原貴恵子・川端美穂・堂本真実子・中山美香 著 『子どもの理解と援助 ―子どもの育ちと学びの理解と保育実践―』（萌文
参考文献	津守 真 著『子どもの世界をどうみるか 行為とその意味』（NHKブックス1987） 鯨岡 峻 著『ひとがひとをわかるということ―間主観性と相互主体性』（ミネルヴァ書房2006）